

円空

飛驒の

千光寺とその周辺の足跡



東京国立博物館 本館特別5室

2013年1月12日(土)→4月7日(日)

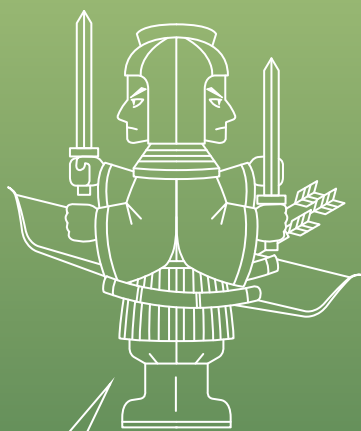
必見!

これが傑作
「両面宿儺
坐像」だ!

江戸時代・17世紀 千光寺

両面宿儺って?

1300年くらい昔、日本で最初に作られた歴史の本『日本書紀』に登場する飛驒の怪物。『日本書紀』によると走るのが速い力持ち。からだにもいろいろな特徴があるらしい。



『日本書紀』に書かれているとおりに描くとこんな姿。円空の像とずいぶん違う。

2つの顔

顔が横に並んでいる。
目がつりあがった怖い顔。
右の顔は口が裂けている。

4本の腕

斧を持つ手のほかに肩のあたりから手が…。
これが3本目、4本目の腕。

刀と斧

本当は剣と弓矢を持つはずなのに、円空は斧を持たせた。
斧は山に生きた飛驒の人々の必需品。

なんでこの像だけ
坐っているんだろう?

なんで2つの顔が
並んでいるんだろう?

真相は謎だけど、いろいろと想像するのもおもしろい!

このジュニアガイドは、「特別展 飛驒の円空」の鑑賞の手引きとして小学校高学年から高校生までを対象に作成しました。

円空ってどんな人？

生涯仏像を彫り続け、その数なんと12万体制！



円空 (1632~1695)

いまから380年前、美濃国(いまの岐阜県)に生まれたお坊さん。お坊さんなのに寺に住まないで、北海道から奈良あたりまでを旅した。その間、修行をしながら出会った人々のために仏像をたくさんつくったんだ。なんとその数12万!ともいわれていて、いまも5000体以上の仏像が伝わっている。

(左図)円空像(部分) 大森旭亭筆 江戸時代・文化2年(1805) 千光寺

木食戒ってどんな修行？

木食戒で食べられていた木の実

円空が神聖な山などで行なった修行のひとつ。お米や麦などの穀物や、煮たり焼いたり火をつかった物を食べないという修行。その代わりに食べたのはいろんな木の実。苦みをなくす工夫をして昔から食べられていたどんぐりや栃の実。そのまま食べられる椎の実、おいしい栗やくるみ、桑の実、草いちご…。きのこなどもあって山には食べられるものが多いんだ。山のパワーを感じられる修行だったのかもしれない。



円空の作った仏像たち

ふしぎで楽しい円空仏の世界！

円空が生きた時代は今よりもっと生きるのが大変。雨が全然降らないとか、夏なのに日が照らないという日が続くと農作物ができない。火事や病気もすぐ広まった。だから豊かな実りや、災いのない暮らしを神様、仏様に祈った。円空はそんな村人たちのためにいろんな像を作ったんだ。

宇賀神像
江戸時代・17世紀 千光寺
体は蛇、頭は老人という神。宇賀神は食物や財産をもたらすと信じられた。

五穀豊穡

稻荷神坐像(獣頭形)
江戸時代・17世紀 錦山神社

この像には、食物の実りが豊かでありまうようにと祈った。

八大龍王像
江戸時代・17世紀 千光寺
龍は水の神。雨を降らせたり、やませる力があると信じられた。

祈雨止雨

龍頭観音菩薩立像
江戸時代・17世紀 清峰寺
頭の上に龍をのせた観音像も円空はたくさんつくった。こちらも雨に関する祈りをかなえてくれる像。

頭上の龍

迦楼羅(鳥天狗)立像
江戸時代・17世紀 千光寺
迦楼羅と言われているけど、火事から守ってくれる鳥の頭の神様・秋葉権現かもしれない。

火難よけ

不動明王および二童子立像
江戸時代・17世紀 千光寺

いじわるなせいたか童子と気の弱いこんがら童子をつれたこわい顔のお不動さま。

円空仏の作り方

円空は木を切って、それを鉋で割って、そこにノミで像を彫った。表面に何も塗らず、木がそのまま見えるのが特徴。節が目立つ像もある。

3体を合わせると…



不動明王と二童子の3体を合わせて下から見ると、年輪がつながるので1本の木から作られたことがわかる。



円空と飛驒 飛驒とのつながり

美濃(今の岐阜県)出身の円空は岐阜(美濃と飛驒)と愛知に特に多くの像を残している。

岐阜県
高山市

円空が
旅した
ところ

高山市
円空
マップ

高山市は
日本一面積が
広い市なんだ



①千光寺

円空は千光寺に滞在して、飛驒にもたくさんの像を残した。

②北アルプスの山々

円空は近くの穂高岳、乗鞍岳、焼岳、双六岳、錫杖岳、笠ヶ岳などに登り、修行したらしい。



③両面窟

あの両面宿儺が住んでいたといわれる鍾乳洞。円空も時々ここで過ごしたらしい。林道から100メートルほど登ったところが洞窟の入口。中は広いけど湿気が多い。



[特別展] 飛驒の円空 — 千光寺とその周辺の足跡 —

東京国立博物館 本館特別5室 2013年1月12日(土)→4月7日(日)

開館時間=午前9時30分～午後5時 ※3・4月の金曜日は午後8時まで ※4月6日(土)、4月7日(日)は午後6時まで ※入館は閉館の30分前まで
休館日=月曜日 ※ただし1月14日(月・祝)、2月11日(月・祝)は開館、1月15日(火)、2月12日(火)は休館
主催=東京国立博物館、千光寺、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション
特別協力=高山市、高山市教育委員会

観覧料	一般	大学生	高校生
当日料金	900円	700円	400円
前売料金	800円	600円	300円
団体料金	800円	600円	300円

※団体は20名以上 ※中学生以下無料
※障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳をご提示ください)

ジュニアガイド制作=東京国立博物館、NHK
デザイン=株式会社オカダック



展覧会公式ホームページ=<http://enku2013.jp/>
東京国立博物館ホームページ=<http://www.tnm.jp/>

NHK美術番組のご紹介



日曜美術館

Eテレ 毎週日曜日 午前9時～10時
(再) 翌週日曜日 午後8時～9時
※アートシーンのみ同日あざ放送と同一

はくぶかん
博物館での
ルール



1. ゆっくり歩いて静かに見よう
2. 作品にインクがつかないようにメモはえんぴつで
3. 作品にはさわらず目で楽しもう